◆治水事業

- 一級河川尻別川（国管理延長24.2km）では、安全・安心な社会基盤を形成するため、令和6年3月に変更した「尻別川水系河川整備計画」や、「第１次国土強靱化実施中期計画」に基づき、国土強靱化の取組を着実に推進するとともに、河川空間利用に関する情報を効果的に発信するなど、農林水産業や観光等を担う「生産空間」の維持・発展に貢献します。
- 気候変動等に伴う水害・土砂災害等の激甚化・頻発化に備えるため、流域のあらゆる関係者が協働して取り組む「尻別川流域治水プロジェクト2.0」を推進し、河道掘削、地震津波対策、水害タイムラインによる防災訓練など、ハード・ソフト一体的に取り組みます。
- 令和8年度は、河川改修として洪水を安全に流下させるための河道掘削等、河川維持修繕として堤防・樋門等の河川管理施設の機能を保持するための施設の点検整備等を実施します。

尻別川サイクリングコースマップ

尻別川河道掘削

減災対策・流域治水協議会

水防工法実技訓練

事業別	地区別等	事業の概要
河川改修	尻別川	河道掘削 等
河川維持修繕	尻別川	堤防管理、水閘門等維持管理、河川巡視 等

かわたび ぼっかいどう KAWATABI HOKKAIDO

国土交通省 川の防災情報 "気象"×"水害・土砂災害"情報マルチモニタ

流域治水

◆道路事業

1. 北海道地域構造を支え、世界を見据えた人流・物流ネットワークの形成

○高規格道路ネットワークの形成

生産空間の食・観光等の基幹産業を支えるとともに、国土の強靱化を確保し、地域間の連携強化を図るための高規格道路の整備を推進します。

国道５号　倶知安余市道路（倶知安～共和）

国道５号　倶知安余市道路（共和～余市）

2. 観光立国を先導する世界トップクラスの観光地域づくり

○「シーニックバイウェイ北海道」の推進

「シーニックバイウェイ北海道」において、特に魅力的な景観等を有する道路であるシーニックバイウェイ「秀逸な道」について、多様な主体の連携のもと、景観の維持・形成、情報発信の取組を推進します。

また、小樽開発建設部管内では、「支笏洞爺ニセコルート」が活動しており、地域と協働した取組を推進します。

○サイクルツーリズムの推進

世界水準のサイクルツーリズム環境の実現に向け、安全で快適な自転車走行環境の整備やサイクリストの受入環境の充実、情報発信及び地域独自の取組など、官民一体となって推進します。

小樽開発建設部では、「羊蹄ニセコエリアサイクルルート」があり、ルート協議会と連携し、道路空間を安全に共有する「シェア・ザ・ロード」の意識醸成に向けて多様な主体と連携した取組を推進します。

八幡ビューポイントパーキング（国道276号 倶知安町）

「秀逸な道」道路景観の維持に向けた取組

シェア・ザ・ロードの取組
地域のバス、運送会社にステッカーを配布

自転車走行環境改善に向けた取組

3. 激甚化・多様化する災害への対応と安全・安心な社会基盤の形成

○災害からの迅速な復旧と早期の日常生活・経済活動の再開に資する防災・減災対策

気候変動に伴い激甚化・頻発化する気象災害、切迫する大規模地震や急速に進む施設の老朽化等に対応するべく、災害に強い国土幹線道路ネットワーク等を構築するため、令和7年6月に閣議決定された「第1次国土強靱化実施中期計画」を踏まえ、高規格道路ネットワークの耐災害性強化や老朽化対策等の抜本的な対策を含めて、防災・減災、国土強靭化の取組の更なる加速化・深化を図ります。

国道229号　島牧防災

○防災、通行の安全、景観の向上に資する無電柱化の推進

道路の防災性の向上、安全で快適な歩行空間の確保、良好な景観の形成や観光振興の観点から実施している電柱の新設抑制及び無電柱化について、低コスト技術等の導入やPFI事業の活用により、事業のスピードアップを図ります。

国道229号　余市駅前電線共同溝

○社会経済活動を支える道路施設のインフラ老朽化対策

道路施設が有する機能を長期にわたって適切に確保するため、各施設に応じた点検及び計画的・効率的な維持管理を図り、適切な老朽化対策を推進します。

○冬期交通の確保

冬期の安全・安心を確保するため、冬期災害に備え、代替性確保のための高規格道路の整備、国道における防雪対策、防災訓練や住民の意識啓発等を推進します。また、大雪・暴風雪時の取組として、道路管理者間で連携した高速道路通行止め時の並行路線対策やラジオ放送・SNSを活用した情報発信、TEC-FORCEの派遣による自治体支援などを円滑かつ迅速に、きめ細やかに実施します。

○安全・安心な移動環境の確保

事故多発区間での事故データを用いた分析やビッグデータを活用した潜在的危険区間の分析により、事故の危険性が高い区間を抽出して重点的な対策を実施する「事故ゼロプラン」を推進します。

また、生活道路における速度抑制や通過交通の進入抑制を図る面的対策の検討において、ETC2.0プローブデータを活用した分析により自治体を支援し、安全・安心な道路空間の整備を推進します。

冬期交通の安全確保

トンネルの老朽化対策（はく落対策）

交通安全対策（中央帯整備）

○「道の駅」の防災拠点化

近年、激甚化・頻発化する自然災害に備え、各地で広域的な復旧・復興活動の拠点整備が進められており、地域防災計画に位置付けられた「道の駅」において、防災拠点の整備や機能向上を図っています。

令和3年6月には、地域防災計画等で広域的な防災拠点に位置付けられている道の駅のうち、小樽開発建設部管内では「ニセコビュープラザ」が「防災道の駅」に選定されています。また、「ニセコビュープラザ」及び「230ルスツ」が、令和4年3月に広域災害応急対策の拠点として「防災拠点自動車駐車場」に指定されています。

さらに、令和7年12月には、「ニセコビュープラザ」に道内初の防災用コンテナ型トイレを設置し、平常時はバス待合室、非常時には停電・断水下でも利用可能なトイレ及び更衣室として活用することで、防災機能の強化を図っています。

「防災道の駅」をはじめとする地域防災計画に位置付けられた道の駅においては、引き続き、BCPに基づく防災訓練等の支援を重点的に進めていきます。

4. 路線別主要事業一覧

路線名	主要事業	
国道5号	高規格道路の整備	蘭越倶知安道路（ニセコ～倶知安） 倶知安余市道路（倶知安～共和、共和～余市）
	無電柱化	倶知安地区電線共同溝、小樽花園第二電線共同溝
	老朽化対策	道路構造物修繕（橋梁、トンネル、横断歩道橋）
国道229号	防災対策	島牧防災
	無電柱化	余市駅前電線共同溝
	交通安全対策	来岸路肩改良（積丹町）【令和8年度新規事業化】
	老朽化対策	道路構造物修繕（橋梁、トンネル、シェッド）
国道230号	交通安全対策	川上中央帯整備（喜茂別町）、尻別路肩改良（喜茂別町、留寿都村）
国道276号	交通安全対策	北岡路肩改良（京極町）
	老朽化対策	道路構造物修繕（橋梁）
国道393号	防雪対策	雪崩予防柵整備
	交通安全対策	落合線形改良（赤井川村）

○2050年、WISENET（ワイズネット）の実現に向けた小樽開発建設部の取組

管内道路ネットワーク全体のサービス向上を実現するため、管内国道の旅行速度の分析に着手しました。
今後、分析の結果を元に旅行速度の低下が認められるボトルネック（交通容量が最小となる）区間を抽出し、必要な対策の検討を進めます。

WISENET（ワイズネット）2050・政策集について